

教育目標・学校経営計画

更新日：2026年05月26日

学校教育目標

久住中学校学校教育目標

令和8年度学校経営の基本

1 学校教育目標

一人一人の学びを大切にし 生きる力を育成する

【学校・家庭・地域社会との連携および協働を通して】

【めざす生徒像】

- (1) 自ら考え、判断し、表現することのできる生徒
- (2) 他人を思いやることのできる豊かな人間性をそなえた生徒
- (3) 運動に親しみ、健康に生活できる生徒

【めざす学校像】

- (1) 個別学習や協働学習を通して、生徒が主体的に学ぶことのできる学校
- (2) 久住の歴史や伝統・文化を尊重し、ふるさとを愛する心を育み、地域とともに歩む学校
- (3) いじめやからかい・差別のない安全で安心な学校

【めざす教師像】

- (1) 生徒の資質・能力の向上を図るため、進んで研修を行うことのできる職員
- (2) 教育公務員としての自覚と誇りをもち、地域・保護者・生徒から信頼される職員
- (3) 自他を認め、互いに協力して、生徒の指導にあたることのできる職員

2. 今年度の経営の重点

生徒が「達成感」や「満足感」を得られるわかる授業や楽しい活動を通して、
居場所と充実感のある温かい学校・学級づくりを目指します。

- 主体性・創造力の育成：「生きる力」を育むための授業改善に努めます。
- 思いやりの心の育成：積極的な生徒指導を通して、互いに認め合い、高め合う関係を築きます。
- 地域・家庭との連携：学校支援地域本部事業を推進し、地域と連携した教育を行います。
- 働き方改革と組織の充実：教職員のモラールアップを図るとともに、ICTツールを活用した
情報共有や業務の合理化を進め、教育の質向上につなげます。

3. 具体的な方策

(1) 「確かな学力の向上」をめざす教育活動

- 学習習慣と基礎学力の定着：基礎・基本を徹底し、自ら学ぶ意欲と思考力を育てます。
- わかる授業の実践：生徒のつまずきを把握し、習熟度別学習や自己決定の場を
取り入れた授業を展開します。
- ICTと英語教育の活用：タブレット端末を積極的に活用して学力の3要素を伸ばすとともに、
コミュニケーション能力や国際理解力を高める英語教育を充実させます。
- キャリア教育の推進：体験活動や地域人材との協働を通し、
社会的・職業的自立に向けた基盤を育てます。

(2) 「豊かな心」「豊かな人間関係づくり」を育む教育活動

- 道徳・人権教育の推進：議論する道徳の授業や全校的な取り組みを通し、
思いやりの心や人権意識を育みます。

- 感性と社会性の育成： 歌声活動、清掃・美化活動、読書活動のほか、部活動や体験活動を通して、自己肯定感や感謝の気持ちを育てます。
- 「支える指導」への転換： 教育相談活動を積極的に行い、生徒に寄り添った支援を行います。

(3) 「健康・体力の向上」に向けた教育活動

- 基本的生活習慣の確立： 睡眠・食事・運動の重要性を理解させ、姿勢や視力の向上に努めます。
- 体力向上と食育： 調査結果をもとにした計画的な体力づくりや、養護教諭と連携した保健学習、望ましい食習慣を育む食育を推進します。

(4) 「特別支援教育の充実」をめざす教育活動

- 個に応じた支援体制： 一人ひとりに合わせた個別支援計画を作成し、学校全体できめ細かな支援と合理的配慮を行います。
- 関係機関との協働： 保護者や関係機関と連携し、生徒が活躍できる場を保障します。

(5) 「地域と共にある安全・安心な学校づくり」

- 開かれた学校づくり： 学校だよりやホームページで情報を積極的に発信し、学校運営協議会やアンケートを通して保護者・地域の声を学校運営に生かします。
- 地域との交流： 地域の行事への参加や地域人材の活用を通して、地域への愛着と誇りを育てます。
- 危機管理と安全教育： 計画的な安全指導や避難訓練を実施し、自らの命を守る「危険予知・危機回避能力」を育成します。

成田市立久住中学校

〒286-0819 成田久住中央2-1 | 電話番号：0476-36-0602 | ファックス番号：0476-36-0915